



2025年4月30日

各 位

会 社 名 東 武 鉄 道 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 都 筑 豊
(コード番号 9001 東証プライム)
問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 課 長 金 子 悟
(TEL. 03 - 5962 - 2057)

長期経営ビジョンにおける目標数値等の変更について

当社では、このたび長期経営ビジョンにおける目標数値等の変更について、本日開催の取締役会で決議いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、2024年度に新たな長期経営ビジョンを『「挑戦」と「協創」で進化させる社会と沿線』と定め、2033年度に営業利益800億円の達成を目指しております。

2024年度は、旺盛なインバウンド需要や人流の回復傾向等の良好な外部要因と構造改革の効果や単価を重視した価格戦略等の内部要因が噛み合い、過去最高の営業利益を記録しました。今後の外部環境としては、旺盛なインバウンド需要は継続すると想定するものの、物価・人件費・金利などの上昇や労働力不足の拡大が見込まれます。こうした環境下においても、当社グループは、成長領域として定めた観光事業、まちづくり等のプロジェクトの本格化や、東武スカイツリーラインと東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転実施など、大型プロジェクトを順調に進捗させることを通じて、さらなる成長が可能であると考えております。

つきましては、足元の収益性や大型プロジェクトの完成時期の見通しなどを踏まえ、長期経営ビジョンの目標について、時期を変更したうえで、目標数値を引き上げることとしました。

変更の概要は別紙のとおりです。

以 上

(別 紙)

1 長期経営ビジョンにおける目標数値・目標時期の変更内容について

	目標数値	目標時期
変更後	1,000 億円以上を目指す	2030 年代半ば
変更前	800 億円を目指す	2033 年度

2 変更理由について

以下の内容を考慮し、目標数値と目標時期を変更することとしました。

- ・ 足元の収益力の底堅さと観光需要取り込みの力強さ
- ・ ホテル建設等の観光領域におけるプロジェクト見通し
- ・ 押上エリアにおける再開発計画などまちづくり計画の深度化
- ・ 東武スカイツリーラインと東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転実施

3 長期経営ビジョンの実現に向けた考え方について

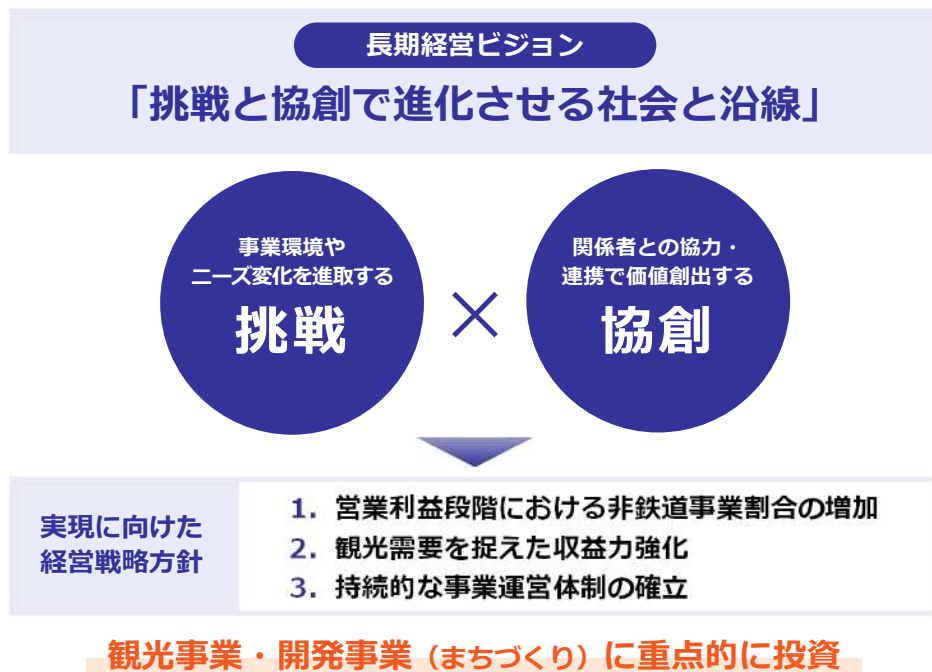
長期経営ビジョンの実現に向けては、①営業利益段階における非鉄道事業割合の増加、②観光需要を捉えた収益力の強化、③持続的な事業運営体制の確立、という3点を経営戦略方針として掲げ、観光事業と開発事業（まちづくり）を中心に据えてグループ全体を成長させていく戦略としておりますが、引き続きこれらの方針・戦略に基づき、各事業を推進してまいります。

以 上

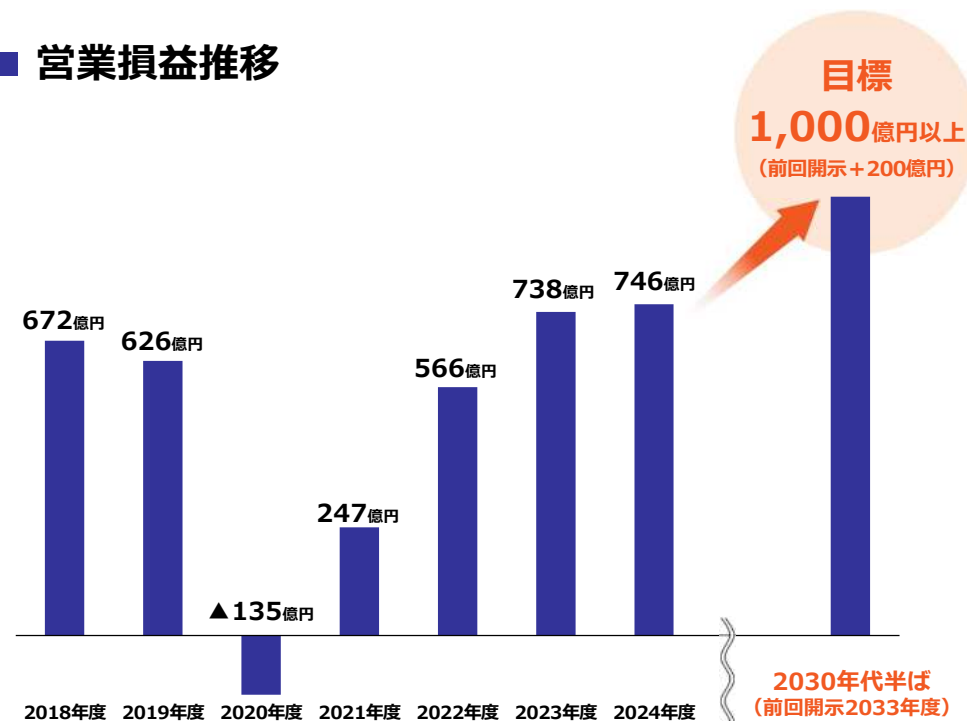
長期経営ビジョン 財務目標の変更

成長領域である観光、まちづくりの事業の加速化や東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転等の実現を通じ、2030年代半ばに1,000億円以上の営業利益へ

■ 基本方針



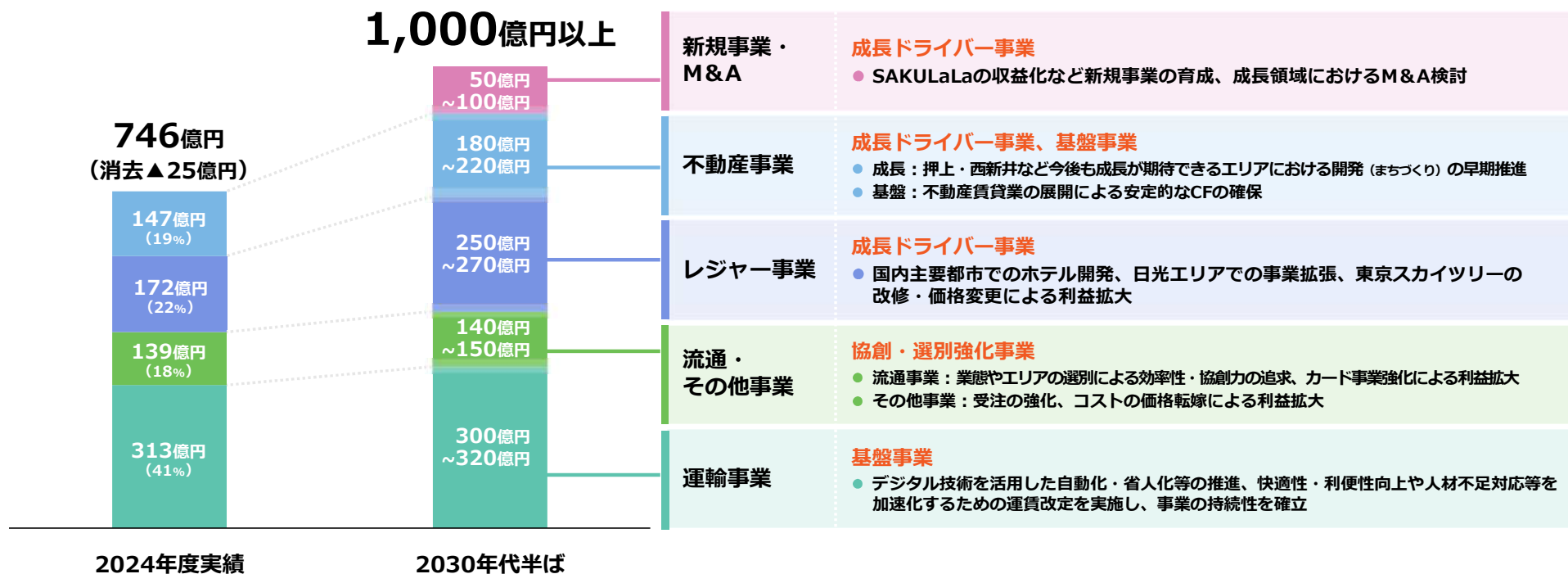
■ 営業損益推移



セグメント別営業利益

長期経営ビジョンに掲げる財務目標の達成に向け、経営戦略方針に基づき事業を推進し、『レジャー』・『不動産』・『新規』の各セグメントを伸長させる

2030年代半ばに向けたポートフォリオの方向性



長期経営ビジョンの実現に向けた主要プロジェクト

